

守屋は まちの大工さん!

住まいのことで気になることは
何でもご相談を



大工手作りテレビ台

既製品の家具も良いのですが、一から大工さんに作成してもらえると、暮らしにピッタリな家具が出来上がります。

こちらのテレビ台は、天板の素材や高さをキッチンカウンターに揃えたり、棚のサイズや扉の形状を収納する物に合わせてたり、コンセントを収納の中に設置したりと様々な工夫をしています。

お客様と打合せを重ね、アイデアを出し合うことで、お部屋の雰囲気やお好みに合った“オリジナル家具”が出来ました。



掲示板 「地域感謝デー」のおしらせ

6月11日(日) 9:00~11:30 包丁研ぎのみ

※開催においては感染対策を徹底いたします。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止とする場合もございますので、ご了承ください。



Moriya 通信

No.60

2023.5

— 住まいの玉手箱 —

武蔵野市H邸



Moriya ナビ

「PRANKS COFFEE」 ～やさしさに溢れるコーヒー～

武蔵小金井駅から徒歩4分ほどの六地蔵隣に、ご夫婦で営まれる「PRANKS COFFEE 小金井六地蔵」さんがいます。どの豆も、ご主人が焙煎、奥様(ミエさん)が一杯ずつドリッピングしています。週替わりのシングルオリジンや今週のスペシャルなど常時9~10種類ある中から、その日の気分で選べます。どれもホッとする優しい味になるよう仕上げています。

デカフェ(カフェインレス)ブレンドがあるのもお店の特徴です。

ご主人が趣味で始めた焙煎でしたが、その技術を学ばれ、個人向けからイベント出店や通信販売、店舗販売と徐々に販売の枠を広げられました。

コーヒーのお供にと販売されている焼菓子は店舗オープン前に参加していた小金井市内のイベントなどで知り合った方からお願いしているそう。素材にこだわり、おいしく丁寧に作られていて、絶品でどれも店主のお気に入りとのこと。

これからの季節はブランクスコーラもおすすめ。8種のスパイスとレモン・ライムで作られたオリジナルのクラフトコーラは気持ちをキリッと、スッキリとさせてくれます。寒い時はシロップをお湯割りにしてホットでも楽しめます。

もちろんコーヒー豆のみの購入もでき、ご希望によって挽いてもらうこともできます。

また、ドリッピングコーヒーに六地蔵の黄金の水を選ぶこともできます。淹れたての美味しいコーヒーなどを購入の際、店主ミエさんとお喋りも楽しみに、是非、訪れてみてください。



PRANKS COFFEE 小金井六地蔵
東京都小金井市本町1-7-4 Tel:080-3006-0174
定休日：火曜日・水曜日
Mail: prankscoffee@gmail.com
https://www.instagram.com/pranks_coffee



p4-5 変化を楽しむ、
くつろぎの家

p2 住まいの玉手箱

p3 道具の話「尺杖」

p6-7 みんなのコラム
「心に残る出来事」
Moriya 人・紹介

p8 守屋はまちの大工さん
Moriyaナビ
「PRANKS COFFEE 小金井六地蔵」

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市買井北町5-21-2 TEL 042-322-5438
E-mail: info@moriyakoumuten.com
<http://www.moriyakoumuten.com>

Instagram
はじまりました!



@moriyakoumuten

住まいの 玉手箱

「補助金の話」

日本政府は『2050年までにカーボンニュートラルを目指す』と宣言、その目標に向かって様々な取り組みが行われています。

住環境としては、断熱性能の向上に対する補助金が始まっています。

主なものは3つ、こどもエコ住まい支援事業、先進的窓リノベ事業、給湯省エネ事業です。

半日ほどで工事が済む『内窓取り付け』は、断熱効果が高く冷暖房効率が良くなるので、高騰している電気代の削減にもつながります。

それぞれ対象となる条件が異なりますが、東京都の補助金との併用も可能です。設けられた期間中であっても、予算上限に達した時点で終了となってしまいます。ご検討のタイミングによっては利用が叶わないこともありますので、ご注意ください。



住まいにおける音の話

住まいにおいて気になる音の伝わり方には2種類あります。

空気中を伝わって耳に届く「空気音」と床や壁などの固体を伝わって聞こえてくる「固体音」です。

代表的な例を挙げると「空気音」はジェット機の音、自動車の音、楽器の音、人の話声など。「固体音」は2階でスプーンを落とした音、人の足音、床に置いたオーディオスピーカーの振動音、トイレの排水が流れる音などです。

「空気音」の伝達を防ぐには、天井や床・壁に使用する素材を重いものにする、壁

や窓を二重にして間に空気層を設ける、などが有効です。ただし、そこで注意しなくてはいけないのが共振を防ぐことです。素材はそれぞれ共振する周波数を持っているので、複数の素材を組み合わせる事で共振を防ぐのです。

「固体音」を防ぐ方法としては、構造を強くすることがあります。例えば梁や根太を太くすることで効果が表れます。また足音や物を落とした際の落下音を防ぐには、カーペットやフローリングの下地にクッション性のあるものを敷き込むことや、下階の天井下地の吊り木に防振吊り木などを使用することなどが効果的です。

心地良い暮らしのために『お住まいの音環境』考えてみませんか？

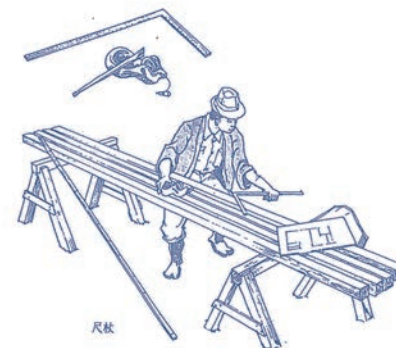
道具の話



家 づくりにおいて、大工が 一の一番に行うのが尺杖を造る事である。組立や加工に必要な線を資材に引く作業を総じて墨付けと言うが、土台や梁等の骨組みに基準の墨を付ける為の道具が尺杖である。

建 築ではなじみのインニッサン程の(3cm×4cm×4m) 節や丸みの無い角材に一尺おきに線を印し、モジュールとなる三尺おきに目印を入れたもので、木材1本の単純なものであるが、誤差が許されない大事な定規となるものである。

使 い方としては、骨組みとなる角材の上に尺杖を乗せて、基準となる墨を写すのだが、尺杖をあてがう事で仕口や継手の来る位置に節が当たらないように位置をずらし、組みあがった時の見え方や加工された部材を瞬時に思い描き、決めた位置に基準の墨を写す。順次仕口や継手の加工する形状の



住まいづくりに関連する「道具」についてご紹介します。

「道具は命」という言葉がありますが、職人は仕事によって様々な道具を使います。「道具の手入れも仕事のうち」などとも言い、昔からいろいろな道具が大切にされてきました。時代と共に消えていった道具や、姿、形が変わっていった道具もあります。

さあ、今回は「尺杖」をご紹介します。



墨を印していく。スケールで都度あてがうことは効率も悪く、指金で寸法をおっていけば必ず誤差が生じる。少しの誤差でも建物が大きくなれば狂いも大きく、その誤差は大工にとって命とりとなる。そのため尺杖は2本同時に作成し、片方を反転させて墨を合わせる事で狂いが無いかを確認する。すべての基準となる大事な定規であり、作業精度や効率・出来上がりまでも予測できる不思議な魔法の杖である。

大 工は、これから挑む一棟はすでに細部まで頭に入っている。一つのミスも許すものかと高ぶる気持ちを抑えながら、気持ちを整える一つの儀式が尺杖造りである。



玄関ホール

木の温もりがいったいな玄関ホールと階段。最後の仕上げ、玄関手すりを設置する伊藤大工。



新築

武蔵野市H邸

変化を楽しむ、くつろぎの家

時を経てその表情が変化していく無垢の木。
H邸ではその無垢材を構造や内装にふんだんに使用しています。
家族それぞれの時間や空間を考慮しつつ、
皆が集う豊かな時間や空間も大切にしたプランです。

キッチン

以前のキッチンは『独立型』で北東の角にありましたが、今度は南東の角。リビングダイニングを見渡せる『対面型』です。お料理好きな奥様を中心に、ご家族が食事を楽しむシーンが目に浮かびます。壁側には広々使えるカウンター。奥の勝手口はウッドデッキに通じています。

和室

畳にゴロンと寝転ぶと、その香りや柔らかさが心地良く、小さなお孫さんも安全に過ごせます。

風雨に強いひのきのウッドデッキ。ヒバ油による防蟻処理も施しています。

ウッドデッキ

リビング

無垢の腰壁とフローリング。木の香りに癒されます。障子を通してくる柔らかな陽の光と、爽やかな薄いブルーの壁紙。和風でもあり北欧風でもあり…両方の良さがいきている『家族のくつろぎ空間』です。



BEFORE



AFTER

お客様の声

建て替えをするなら守屋工務店様をお願いしたいと思っていました。
年齢を重ねても住みやすい家をもとめていました。住みやすいと思うことを伝えていくことから家づくりがはじまりました。
建築が始まると、地元の工務店様ならではの心温まる配慮があちらこちらにあり、安心して出来上がりを待つことができました。
住み始めて、あらためて住みやすく穏やかな生活が送れていることを実感しています。
ウッドデッキで過ごす時間、木に囲まれて過ごす時間、何にも変えられない時間になっています。

廊下～トイレ～洗面所

廊下からも洗面所からも出入りできるトイレ。将来の介護も視野に入れた工夫です。



①

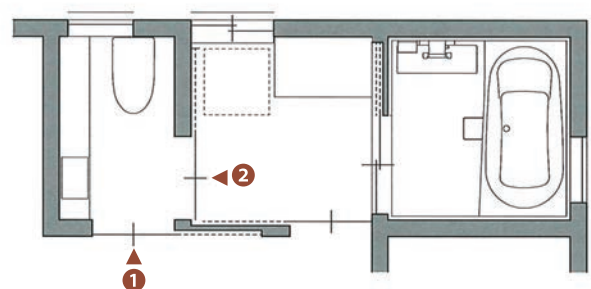


②

担当者の声

決断の連続ともいえる住まいづくりですが、H様はとても明確なイメージをお持ちであり、ほとんど迷われることがありませんでした。
大切になさったポイントは、棟梁の手刻みであること、体に害の無い天然素材を使うこと、日常の生活動線だけでなく、お孫さんが遊びに来た時の過ごし方や、将来の介護も考慮したプランであること。それらを盛り込んだ住まいづくりでした。
こだわりポイントの一つである手刻みは、棟梁が素材一本一本のくせを見ながら、配置や向きについて熟考し、カンナやノミで丁寧に加工していきます。そうした過程を経て職人の思いが素材の仕上げに現れると考えています。
また、その木が東京あきる野市で育ち、製材され、棟梁の手によって加工され、東京武蔵野の地でH様の暮らしを支える役割を担っていくことにも、大きな意義があると考えています。
H様御一家の新居での生活が、末永く笑顔あふれるものとなりますように祈念しております。ありがとうございました。

守屋辰彦・笠原雅子



小学校2年の夏休みに田舎のおばあちゃんの家に行った時のことです。1才年下のいとこやその友達と遊ぶことがほとんどでしたが田舎の夏休みは短く、いとこたちは学校が始まってしまい、私一人で近くの小さな川に遊びに行き遊んでいました。蛙を捕まえようと向こう岸近くに渡って行き、岸に上がろうと顔を上げた時、目の前に熊がいました。慌てて戻ろうとしましたが、走って逃げると追いかけてくるかもしれない、その思いがよぎりました。ゆっくりと後ずさりして岸まで戻りました。岸に上がってからは必死に走って家に帰りました。家ではおばあちゃんが土底の下で夕顔を干していました。「どうした?」と聞かれましたが、一人で川に遊びに行ったことがばれると思い、ただただ泣いていました。察したのか何も言わず背中をさすってくれていたおばあちゃんのおいとぬくもりを忘れられません。



社長
守屋辰彦

みんなの コラム

心に残る出来事



営業部長
今井治彦

10年以上前に遡りますが、私の結婚式での出来事で、守屋社長をはじめとする社員の皆さん、ご参列の皆さんで木遣り歌と手締めで締めて頂きました。予定にはしていないサプライズで披露宴をグッと締めて頂き、お陰様で心温まる式となりました。あの時の驚きと感動は今も心の中に残っています。この場をお借りしまして、その節はありがとうございました。



工事課長
立花慶次

両親も一緒に、地方の親戚のお墓参りに行った時は、先祖の供養だけでなく、家族との思い出深い旅行になりました。その日はまだ寒く子どもたちはスキーを楽しみ、雪の上に大の字になって無邪気に寝転び、その様子に目を細め見つめる両親の姿、足腰弱くなった父は子どもに手を引いてもらいながら入浴を楽しめたと喜んでいて、蕎麦好きの家族皆で美味しい空気の中で食事ができたこと…。また行きたいと話していましたが、数年後に父は倒れ、叶うことなく旅立ちました。今でも当時の場面一つ一つ心に残り、家族と懐かしく話す大切な時間となりました。

長女が小学校3年生の時、中野坂上に住んでいて、地域の少年野球チームのホワイトコンドルに入部しました。小学3年生から中学3年生まで60人ほどの4チーム編成で、日曜日和休日は休みなく娘と一緒にグラウンドで練習と試合に。私は6年間1チームの監督として走り回っていました。試合に勝っては泣き、負けては泣きの思い出ばかりです。夏休みには2泊3日でバスを貸し切り、他県の小学生チームと他流試合をしたり、多摩テックでキャンプをしたり、都大会の開会式では後楽園球場で全員参加して芝生の上を踏み締め感動したものでした。

娘がまだ小さかった頃のこと。覚えてたの『しりとり』を私とやりたいて言ってきました。ニコニコと嬉しそうに娘：『じゃあ、いくね〜。ラーメン!』私：『…んっ?』今までやった中で、一番短いしりとりでした。短いというより、参加させてもらえなかったというほうが正しいですね(笑)



設計・営業事務
笠原雅子

もうかなり昔の事です。私が20才の頃に、金沢に一人旅をしました。その時に当時好きだった詩人のお墓を訪ねてみようと思立ち、タクシーで野田山という墓地に向かいました。名前の通り山の中の墓地で運転手さんは「犀星のお墓は確かこの辺り・・・」と案内してくれたのですが、ふと気が付くと山の中にたった二人きり!私は近くにあった竹箒を手に取り、もしもの時はこれで戦おう!とずっと手から離しませんでした。結局とても親切な運転手さんだったのでメーターボックスの横に書いてあったお名前をメモして帰り、お礼の手紙を出したのです。笑ってしまうようなことですが、平和な時代だったのでしょね。



設計
井上佐智子



経理
守屋祥子



現場担当
大森勝夫

今から20数年前、私の田舎、栃木県北部的那河川水条の余笹川上流で1時間に1200m/mという雨が降り、突然高さ5mという濁流となり、村を襲った。下流の住宅2棟が濁流にのまれ、ベランダで助けを求めている住民が助けられず流されてしまった。牛農家数軒の和牛が250頭流され、その中の1頭が茨城県の方まで流され生きていたらしい。実家は那河川の傍に家がある。水面から15m位の所であと1m位で水につかる程だったらしい。部落の人達もこれほどの洪水を見たのは初めてだと驚いていた。

この度、平澤が棟梁として独り立ちしました。今後ますます弊社の大工として活躍する平澤大工を、次号の「ひと紹介」で紹介いたします。どうぞ楽しみに…。

ひと紹介

村越 政浩さん(村越タイル様)

割り付けにこだわる美しいタイル貼り



玄関、浴室、洗面所などのタイル工事の確かな技術はもちろん、お客様のご希望にもしっかり応えてもらえるので、安心して任せられます。決まった寸法のタイルを半端な寸法にしないように仕上げる割り付けにはとてもこだわりを持っています。30年以上のキャリアで培った職人の技で、美しいタイル貼りを実現します。守屋工務店と同じ町内会のよしみもあり、大変な仕事も一つ返事で引き受けてくれるのは大柄な身体と

相まった懐の深さからでしょうか。黙々と仕事をし、終われば職人仲間と和気あいあい。場を和ませる気遣いの人です。大工さんが作ったカウンター下地に、お客様お気に入りのタイルを貼って出来上がったきれいな洗面化粧台は感動もの! 最近既製品を入れる方が多くなりましたが、オリジナリティが楽しめるので、村越さんの技術込みでオススメしたいです。